西東京市公民館市民企画事業

# 貧困の現場から社会を変える
## ～生活困窮者支援の現場から

2022 年

**7.23 土**

14 時 ～16 時 30 分

柳沢公民館 視聴覚室

対象　市内在住・在勤・在学

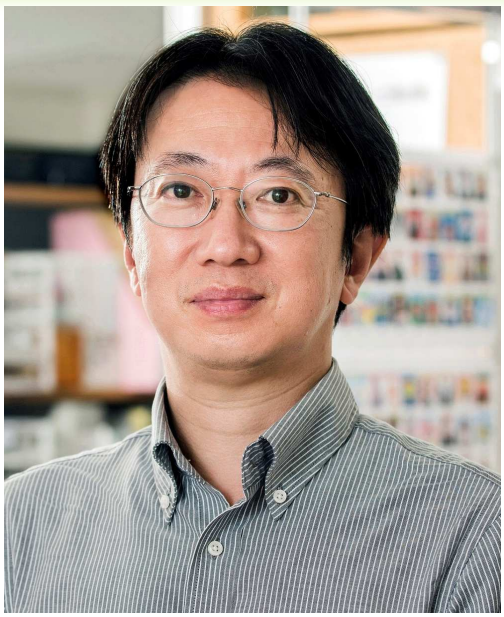
定員　50 人　（申込順）

**7月2日（土）10時より**

**下記に電話で**

柳田　☎ 042-461-3246

資料・広報代　100 円

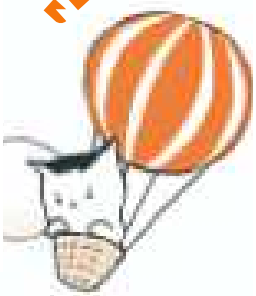


講師 **稲葉 剛** さん

一般社団法人つくろい東京ファンド代表理事、立教大学大学院客員教授、認定 NPO 法人ビッグイシュー基金共同代表、住まいの貧困に取り組むネットワーク世話人、生活保護問題対策全国会議幹事。

コロナ禍で拡がる格差
生活困難者の増加
雨露しのぐ家がなく路上で暮す人たちの
支援から見えてくる社会の歪みに向き合う
だれもが尊厳をもって生きていける
そういう社会にしよう！

経済優先で切り捨てられる労働者
コロナ禍で雇止めになる労働者
非正規雇用、一人親家庭、若者、女性、障害者、
高齢者、外国人などが真っ先に生活苦になる。
身一つで社会からはじき出されないための
命と生活を守るセーフティネット生活保護は
十分機能しているでしょうか。



**生活保護は権利！　住まいは権利！**

**共催 市民自治井戸端会議・西東京市公民館**

感染症拡大防止のため、マスク着用、ご自宅での事前検温等のご協力をお願いします。体調不調の場合はご来場をご遠慮ください。

# 稲葉　剛（いなば・つよし）さん　プロフィール

1969 年広島県生まれ。94 年より、新宿において路上生活者支援の活動に取り組む。2001 年、自立生活サポートセンター・もやいを設立し、幅広い生活困窮者への相談・支援活動を展開。2014 年まで理事長を務める。
2014 年、つくろい東京ファンドを設立し、空き家を活用した低所得者向け住宅支援事業に取り組んでいる。

一般社団法人つくろい東京ファンド代表理事、認定 NPO 法人ビッグイシュー基金共同代表、立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科客員教授、住まいの貧困に取り組むネットワーク世話人。生活保護問題対策全国会議幹事。

【著書】　『貧困パンデミック』(明石書店 2021 年)、『コロナ禍の東京を駆ける』(共編著)(岩波書店 2020 年)、『閉ざされた扉をこじ開ける』(朝日新書 2020 年)、『ハウジングファースト』(共編著)(山吹書店 2018 年)、『貧困の現場から社会を変える』(堀之内出版 2016 年)、『鵺の鳴く夜を正しく恐れるために』(エディマン/ 新宿書房 2014 年)、『生活保護から考える』(岩波新書 2013 年)、『ハウジングプア』(山吹書店 2009 年)ほか。

## ビッグイシュー基金

その他

★「セーフティネットの修繕」9年目へ。引き続き、支援活動への応援をお願いいたします。

★【保存版】生活保護はどんな場合に利用できる？申請の方法は？解説記事をまとめました。

★生活保護の扶養照会の運用が改善されました！照会を止めるツール（申請者用、親族用）を公開しています。

空き部屋を利用した個室シェルター事業